

読んでなっとく! **横浜の歴史** vol.30  
 文: 横浜開港資料館 調査研究員 齊藤 司

**近世の霊場・札所について⑰—稲毛七薬師霊場—**

前回取り上げた都筑橋樹十二薬師霊場に引き続き、今回は稲毛七薬師霊場を紹介する。

稲毛七薬師霊場は、横浜市港北区高田西に所在する塩谷寺を第1番とし、第2番の川崎市宮前区野川の影向寺、3番の同区土橋の正福寺、4番の港北区日吉本町の西光院、5番の横浜市鶴見区獅子ケ谷の光明寺、6番の港北区高田西の興禅寺、7番の川崎市高津区新作の薬師院という七つの札所から構成されている。現在の行政区分でいえば、横浜市の港北区・鶴見区と川崎市の宮前区・高津区の4区に分布している。

これまで紹介した薬師霊場の内、武南十二薬師霊場・都筑橋樹十二薬師霊場の札所数は、十二神将や薬師如来の十二大願にちなむ12カ所である。また、直近の開帳では25カ所の札所数であった武相寅歳薬師如来霊場についても、成立時の札所数は12の倍数にあたる24カ所であったと想定される。しかし、薬師信仰には「七仏薬師」「七所詣」といった「七」を強調するものもあり、本霊場の札所数はそれにちなむものであろう。

御開帳の年次は、他の薬師霊場と同様に寅年であり、直近では平成22年(2010)の4月4日～11日に実施されている。他の薬師霊場よりも御開帳の期間が若干短いのは、札所の数が少ないことと関連するのであろう。本霊場は、他の薬師霊場との関係でい



塩谷寺 (横浜市港北区高田西4-34-35)

ば、主に綱島から荏田にいたる早淵川流域に展開している都筑橋樹十二薬師霊場の東側の外縁に位置している。本霊場の成立時期を示す明確な資料は存在しないが、おそらくは都筑橋樹十二薬師霊場の成立時期と同じか、若干遅れた頃に創設されたものと思われる。具体的には19世紀前半から半ばということになる

ただし、1番塩谷寺・4番西光院・6番興禅寺の3カ所は比較的近接した範囲に存在しているものの、それ以外の札所はやや散在しているようにも感じられ、本霊場の成立・存在の前提に一定の地域圏を想定するのはむずかしい。むしろ1番～6番の札所がいずれも天台宗寺院であることから、同宗の教線の展開や本末関係を意識すべきであろう。また、札所の番号順に巡礼するには行程に少々無理があるようにも思われる。霊場成立時における意図や経緯、あるいはその後の経過における変化などの理由が想定されようか。

ともにつくる ..... vol.28 **共創横濱**  
 横浜市消防局予防部予防課 × 日本郵便株式会社  
 横浜では企業、NPO、自治会町内会など皆さまとの対話を重ね、新たな価値を創り出す「共創」の取り組みを行っています。  
 ☎045(671)4397 共創推進課  
 www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/

**産官学連携の年賀状で火災予防!**

年末年始は何かと気ぜわしいもの。横浜市の住宅火災出火原因でもっとも多いのは、コンロからの出火ということをご存じだろうか。そのような中で、市民を火災から守る横浜市消防局では、公民連携により火災予防をすてきにデザインした年賀状を市民にお届けする。これは、「消防局のPRと市民の防災意識の啓発」をテーマにした連携事業者の公募に、日本郵便(株)が提案したものはがきには、横浜市消防局からの火災予防のお知らせのほか、取り組みに賛同した協賛企業の名前を明記している。はがき代金は協賛企業が負担し、協賛企業の希望する地域へ日本郵便が配達するというものだ。

「市民の皆さまへさまざまな手法を用いてお知らせするなか、行政の予算を使わずに広報できる今回の取り組みは素晴らしいと感じています。日本郵便さんもはがきが売

れる、協賛企業さまも社会貢献と地域への企業アピールになるという三者がwin-winになる取り組みです」と笑顔で話す担当係長の大江さん。加えて今回は、はがき裏面の火災予防のデザインは横浜美術大学の学生によるもの。「学生に頼んだことで、我々には発想のできないような斬新なデザインになり、すてきな『産官学連携』が実現しました」とのこと。大江さんはこの取り組みを全国の消防本部へ発信していきたいと語った。

横浜の新春イベントといえば...これ!  
**横浜消防出初式2017**  
 ◆2017年1月8日(日)  
 10時30分～15時30分  
 ◆横浜赤レンガ倉庫イベント広場ほか  
 ◆問合せ ☎045(334)6516 消防局

**洋上のリゾート につぼん丸**  
 客船入港情報ピックアップ **12/26(月)**  
 主な客船の入港予定  
 ・12月7日(水)～9日(金) オーシャン・ドリーム  
 ・12月7日(水)、9日(金)、11日(日)、19日(月)、20日(火)、22日(木)、23日(金・祝)、24日(土)、25日(日)、26日(月) 飛鳥II  
 ・12月21日(水)、23日(金・祝)、24日(土)、25日(日)～26日(月) ぱしふいっくびいなす  
 ※入港予定は事情により変更となる場合あり  
 ※横浜港大さん橋国際客船ターミナル着岸予定

横浜発のコースを中心に様々なテーマのクルーズを実施している日本クルーズ界のパイオニア"につぼん丸"が入港する(22,472総トン、全長166.65メートル、乗客定員524名)。12月の澄んだ空気がよく似合う白とロイヤルブルーを基調とした重厚な船体は必見。

入港予定、セレモニーに関する問合せ 横浜市港湾局客船事業推進課 ☎045(671)7272  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan>

**ココロカ** vol.27  
 毎日をステキに♪  
**～掃除の力～**  
 今年も残り僅かとなりました。年末の恒例行事といえば大掃除があります。普段時間かとれずに後回しにしてしまい、見過ごしてしまっている場所などを念入りにお掃除しますが、いつの間にか物が増えてたり汚れがひどかったりと、なかなか先に進まない事があります。毎年、来年こそは、毎日整理整頓、お掃除するぞと決断をする方もいらっしゃると思います。  
 掃除には「掃き清める」という意味があり、さらに「拭い清める」という精神的な意味も

もっているのです。また目に見える場所のお掃除をすることを通じて、自身で抱えているネガティブな想いも払うことができるという考え方もあります。思考、行動は習性なので、お部屋の整理、お掃除と心の整理整頓は似ています。お部屋が物で溢れかえっているとしたら、もしかすると心もいろいろな想いで溢れかえっているのかもしれない。  
 心の中にネガティブな想いを抱えているとよけいに辛い気持ちに振り回されてしまったり、自己嫌悪に陥ってしまったりと、マイナス感情の連鎖がはじまり更に整理しにくくなります。お部屋も心もさっぱりと軽くきれいに整理整頓をして新たな年を迎えましょう。

**臨床心理カウンセラー 但野 真実子**  
 株式会社ココロ 代表取締役  
 (横浜市神奈川区栄町2-9 東部ヨコハマビルB1)  
 ☎045-548-4156  
 日本更年期セラピスト協会代表理事

**教えて! ハマの代書屋 Q&A vol.26**  
**相続手続きで必要となる「戸籍」とは?**  
 年金や保険金請求などのいわゆる「葬儀後の諸手続き」の場面においても、不動産や預貯金・株などの「遺産の名義変更手続き」の場面においても、被相続人(亡くなった方のこと)の「戸籍」は必要となります。  
 ただし、年金や保険金請求などの諸手続きで使用される戸籍は、基本的には「被相続人が死亡したことがわかる最後の戸籍謄本」だけでよいのですが、不動産や預貯金・株などの名義変更手続きで使用される戸籍については、「被相続人の出生から死亡までの連続した戸籍、除籍謄本」が必要となり

ます。被相続人が転籍(本籍を移動すること)を繰り返していた場合は、本籍地を調べていた役所ごとに戸籍等を請求しなければなりませんし、またケースによっては、何世代も前まで戸籍を遡らなければならないこともあります。  
 なぜならば「被相続人の法律上の相続人を確定させるため」です。相続人は「自分たち以外に相続人はいない」ということを、戸籍等で銀行や証券会社、法務局などに証明しなければならないのです。  
 戸籍の調査・収集は、大変骨の折れる作業ですので、専門家に依頼することも一つの手だと思えます。

相続遺言手続き・各種法律書面作成なら **行政書士 保坂一成事務所**  
 横浜市神奈川区鶴屋町3-31-1 鶴屋町ビル502B号室  
 ☎045-534-8199 (9時～21時)

**箱根チャリティーカレンダー2017**  
 「箱根もてなしの達人」こと、田中康久氏(箱根町湯本観光協会、大名行列保存会)が撮影した風景がカレンダーになりました。美しい箱根の四季をぜひお部屋で感じてください。  
**1部 1,500円(税込)**  
 B4(見開きB3)サイズフルカラー28ページ 便利な六曜つき!

このカレンダーの売上の一部は、「箱根応援プロジェクト」に寄付し、火山活動の影響を受けた箱根町の応援に役立てさせていただきます。(1冊につき200円)

**残りわずか! なくなり次第終了**

お申込みは湘南よみうり新聞社へ  
**☎0466(50)5088** (受付は平日 9時～18時)  
**FAX 0466(50)5077**  
 お電話またはFAXにて①お名前②ご連絡先③ご住所④購入部数を記入の上、お申込みください。

お近くの販売店よりご自宅まで 代金引換でお届けします

**孤高の若き津軽三味線奏者!**  
 読売新聞 presents 新春特別公演  
**悠久の響き 2017**  
 浅野 祥 津軽三味線ライブ  
**ゲストに和太鼓界のプリンス山部泰嗣 ほか!**  
 2017年 **1月13日(金)** 17時 開演 (1時間前開場予定)  
**読売読者割引価格!**  
 会場 **神奈川県民ホール 大ホール** 横浜市中央区山下町3-1  
 全席指定 お一人様 **4,000円 ▶ 3,000円**  
 ※券手数料として100円(1枚)申し受けます

主催:神奈川県連合読売会

お申込み **☎045-201-9748** (10時～18時 ※土日祝日を除く)  
 ヨコハマよみうりプレイガイド  
 お渡し方法など詳しくは 7面チケット情報をご覧ください